

新年度ご挨拶

胃癌について

特集「脳卒中センター」

特集「かかりつけ医と地域の連携を考える」

地域への架け橋 病院ボランティア

登録医のご紹介

TOPICS



全床開床スタート

医療機能分化で支える。



病院長
石川賀代

地域全体で支えるために

HITOの病院は開院3年目を迎え、今も多くの職員を迎えることができました。また、休床していた病床をすべて開床し、許可病床257床で再スタートを切ります。

宇摩地域の救急患者は、約2割が圏域外に搬送されている現状があります。私たち、公的機関と同様の責務を果たす役割を担う社会医療法人として、受入体制や役割をさらに明確にし、圏域外搬送を減らし、地域の中核病院として選ばれ信頼される病院となるよう努めてまいります。

新

年度を迎えて

入院された方々が一日でも早く元の生活に戻れるよう、多職種が協働して皆様の「生きるを支える」お手伝いをいたします。



臨床研修医
長谷川 雄大

出身大学：愛媛大学

モットー：義理人情に厚く意気込み・身を粉にして働きます

新任医師紹介

この春より初期臨床研修医として、医師としての人格を涵養し、プライマリ・ケアの基本的な診療能力を修得していきます。

● 愛媛大学大学院医学系研究科 地域医療再生学講座「地域サテライトセンター」
まつもと しまべ
松本 調

脳神経外科一般が専門分野で、大学院では、脳虚血を研究されるなど新たな脳神経外科治療の一翼となります。

● 内科医師
小林 伸也
こばやし のぶや
内科一般が専門分野で、小原先生と隔週交代で検査を中心として従事されます。

● 泌尿器科医師
小原 哲也
こばやし のぶや
女性泌尿器を専門分野とされ、泌尿器科に従事されます。

● 精神科医師（緩和ケア病棟）
上野 修一
うえの しゅういち
精神医学・精神薬理学・分子精神医学が専門分野で、緩和ケア病棟などで精神面のケア等を手がけていただけます。

専門医等・日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本泌尿器学会／日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定

精神医学・精神薬理学・分子精神医学が専門分野で、緩和ケア病棟などで精神面のケア等を手がけていただけます。

専門医等・日本精神神経学会代議員・専門医・指導医、日本臨床精神神経薬理学会理事、日本サイコセラピー学会理事等

胃癌

大切なのは早期発見

転移の有無で生存率が変わります



外科部長
喜安 佳人

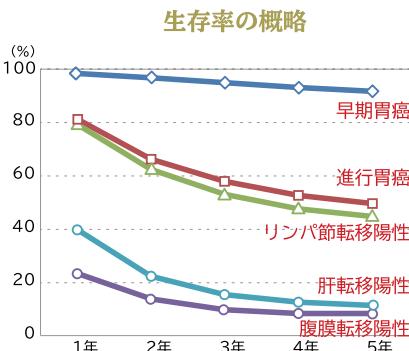
胃癌は、日本で多い癌のため、早期発見に努めましょう。そのためには、胃の内視鏡検査が一番早期発見につながります。

HITO病院でも健診センター「Stop」があり、検査をすることができます。一年に一度は、胃の内視鏡検査を受診しましょう。

早期癌から進行癌へ

胃癌は、とにかく早期発見が鍵です。胃癌が進行すると、様々な所に転移します。転移には「3大転移」といわれる「①リンパ管性転移」「②血行性転移」「肝臓や肺など」「③腹膜播種性転移」があり、こうなると治療が困難になります。

転移前と後での生存率は、下に図で示していますが、早期胃癌に比べると、かなりの開きがあります。特に肝転移陽性や腹膜転移陽性は、かなり気をつける必要があります。



新任臨床研修医紹介

この春より初期臨床研修医として、医師としての人格を涵養し、プライマリ・ケアの基本的な診療能力を修得していきます。

脳卒中センター

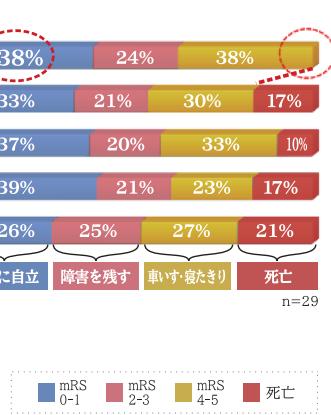
開設から2年。新しい機器も導入し、充実の体制で日々進化しています。



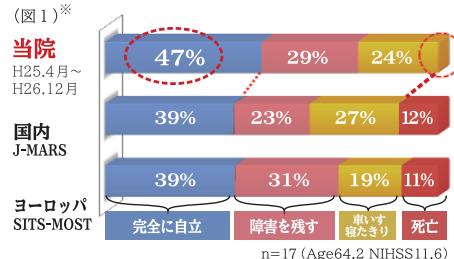
脳卒中センター センター長
久門 良明

開設2年を迎えて

この4月にて脳卒中センターを開設してから、2年目を迎えることができました。これもひとえに地域の皆様や行政機関・関係医療機関の皆様からご支援を賜ったこと、それから当院スタッフの日々の頑張りのおかげだと思っております。あらためて感謝申し上げます。

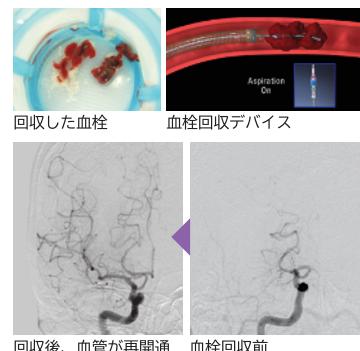


rt-PA 静注療法の治療成績(発症3ヶ月後の自立度の比較)



当院では3ヶ月後の完全自立者(mRS 0-1)が47%を占め、死亡率も0%と、国内外的一般的な治療成績に比べて、良好な結果を得ています。

※ヨーロッパの治療成績と合わせて17歳以下と81歳以上、治療前のNIHSSスコア25点以上を除外した患者まで比較



きる血栓溶解療法(rt-PA静注療法)の当院の実施率は9.6%で、「脳卒中データバンク2015」による実施率4.3%の2倍となりました。rt-PA静注療法の成績(開院から昨年末で集計)も、治療件数は29例と少ないものの、発症3ヶ月後の完全自立率は47%死率は0% (図1)と日本での市販後調査であるJ-MARSやrt-PA登録研究、J-ACT、米国の臨床試験であるNINDSなどの国内外の一般的な治療成績と比べ、良好なものとなっています (図2)。また、主幹動脈閉塞ではrt-PA静注療法による再開通率が低いため、愛媛大学脳血管内グループとの連携のもと、rt-PA静注療法の非適応例や無効例に対しても血管内治療も行っております。

当センターでは、3次元融合画像や3Dプリンターによる術前シミュレーションも行っています。また、術後の神経機能を損なわないように、ニューロ・ナビゲーション・システムや脳・神経機能モニタリングシステムも導入しており、安全で確実な手術を実践し、宇摩圏域の脳卒中診療において地域のみなさまに信頼される施設となることを目指しています。

新たな取り組み

24時間365日、「脳疾患は断らない」とを目標に積極的に受け入れを行い、脳梗塞の急性期治療で最も効果の期待で

今後も緊急に迫られた患者さまが病院到着後に、診察、CTおよびMRI撮影、インフォームド・コンセントまでを円滑に行えるよう、さらなる院内体制の強化に努めてまいります。

治療を終えた患者さまには、回復期リハビリテーション病棟も備えており、そこではリハビリテーション専門医や総勢70名のリハビリスタッフが365日体制で質の高いリハビリテーションを提供しています。

医療体制で治療に望んでいます。

早期より各々の病態に応じた適切な治療(手術や薬物療法)を行っています。また、脳卒中専門医をはじめ、脳卒中リハビリテーション認定看護師、歯科医師、歯科衛生士、薬剤師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー、リハビリスタッフ・セラピストなどの多職種がカウンターフェレンスを行い、リスク管理を十分に行い、早期離床を目指したチーム体制で治療に望んでいます。

この4月にて脳卒中センターを開設してから、2年目を迎えることができました。これもひとえに地域の皆様や行政機関・関係医療機関の皆様からご支援を賜ったこと、それから当院スタッフの日々の頑張りのおかげだと思っております。あらためて感謝申し上げます。

当院では、治療を受けた患者さまの多くが社会復帰できることをめざして、さらなる迅速な診断と治療が行える体制を強化してきました。



脳卒中センター 脳神経外科医長
篠原 直樹

HCUにて

かかりつけ医と地域の連携を考える



医療介護連携部 部長
婦人科医長 小川 晴幾

かかりつけ医がなぜ大切か

超高齢者社会を迎え、医療の情勢は大きく変革を遂げています。それは簡単に言うと、病院で支える医療から地域全体で支える医療への改革です。高度の治療をする時のみ急性期病院で治療し、軽い病気であったり、病気が落ち着いてきたら慢性期病院、リハビリ施設や診療所等が役割分担をしながら、自宅での生活を支える医療の提供方法に変わってきています。現在、国勢調査によると50歳以上の方は45%を超えていました。2030年に

は、日本の人口の半分以上が50歳以上となると言われています。国を支える若い働き手は減少し、一方、医療・介護などにかかる費用は増大し続けています。医療施設の機能に合わせて適切な受診することにより効率の悪い診療をなくしていくかなければなりません。急性期病院では軽症の患者が診療を受けている間、重症患者は診察を受けられないといった状況が各地で起っています。また、日本全体を見ても、医師を始め医療従事者が不足している現状では医療従事者自身が疲弊し、ひいては診療の安全・安心が脅かされています。わたしたち住民は、病院に依存するのではなく、病院や診療所などの施設を適切に利用しながら、お互いに助け合って自立を図る必要があります。

ではどうやってこれらの施設を利用すればよいのでしょうか。これからのお社会では、かかりつけ医がその窓口になります。かかりつけ医がその窓口になることが期待されています。「かかりつけ医」は、住民の皆さん、そしてご家族にとって身近な医療の専門家であり、身近に居て、いつでも病気の相談を受けて、そして丁寧に正確に病状を説明し、また必要なときにはふさわしい医療機関を紹介するなどの役割を担う存在です。かかりつけ医は、病院の医師が高い専門性を期待されるのとは違って、全ての病気にたいして皆さんの生涯を通して診療をします。生活環境や家族

の状況、施設の利用度合いなどから人が希望する生き方までを考慮して、病気とともにどのような生活を送るのかを皆様と共に考え、病気の治療とともに生活を支えることが期待されています。それほど、かかりつけ医は身近な存在であり、高齢者が人生を希望どおりに過ごすために欠かせない役割を持っています。

地域

連携への取り組み

当院の取り組み

- 医療機能分化の推進
例)普段はかかりつけ医に、重症時には急性期病院で治療を受けています

- 地域で切れ目のない医療の提供
例)かかりつけ医と専門医との連携をスムーズにします

- 医療情報の共有
例)検査データは毎日報告します。

例えば、かかりつけ医は検査等の依頼も負担を感じずに行え、且つ必要情報は網羅でき、また、病院は検査した結果を画像データも含めてその日中に返

ります。かかりつけ医は検査等の依頼も負担を感じずに行え、且つ必要情報は網羅でき、また、病院は検査した結果を画像データも含めてその日中に返

わたしたちは地域連携が充実することにより、入院や救急搬送患者に対してもより多く時間を割け、より手厚い医療の提供が可能となります。これからも地域連携を通して住民の皆さんを支える仕組みを作り、皆さんが普段の生活に戻れるように、そして元気になれた高齢者も一緒に地域を支えるような循環社会を目指します。

患者さんにとって かかりつけ医を持つメリット

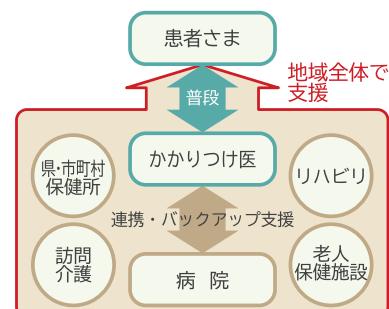
- ・外来の待ち時間が軽減される
- ・時間をかけて話を聞いてくれる
- ・身近な存在として、地域での生活を支えるパートナー
- ・緊急対応や適切な専門医を紹介してくれる

かかりつけ医にとって 地域連携充実によるメリット

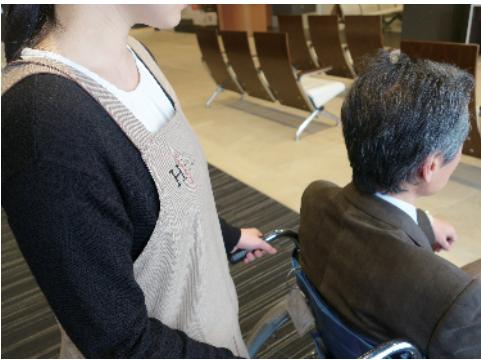
- ・病院と診療所など、施設間の情報伝達の迅速化
- ・病院の専門家の意見を得られやすくなる
- ・紹介がスムーズになる
- ・患者さまを生涯を通して全人的に診れる

当院では紹介状をもたない場合、初診時に選定療養費をいただいております。
出来る限りかかりつけ医からの紹介状をご持参ください。

患者さまを地域連携で支える



地域への架け橋 病院ボランティア



地域を守るお医者さん 登録医のご紹介

VOL
03

大西 康之 先生

みなさま笑顔で
お過ごしください。
笑う門には福来る。

「大西内科医院」

「専門領域」内科一般
「医院の特徴」
地域密着型で往診もできます。た
とえば高齢で寝たきりの終末期
の方の往診もできます。

「どのような症状の患者さまが多
い?」風邪と高血圧などの慢
性疾患の方が多いです。基本は
高齢者の方が多いです。

「HITO病院との連携で望まれ
ること」救急患者さまの受け入
れをしていただけます。
入院加療の必要な方をスムーズ
に受け入れただけたら、あり
がたいです。
「HITO病院とのやりとりでど
んなメリットがありましたか?」
入院の受け入れをしていただけた

愛媛県四国中央市金生町下分 1423-1

電話 0896-56-2018

診療科目／内科全般

診療時間／月～土 (8:30～12:30)

月・水・金・土

(14:00～18:00)

休診日：火・木の午後、日・祝



集団栄養教室のスケジュール

場所:HITO病院3階大会議室 費用:240円
3日前までにお申込が必要です。申込:栄養科 TEL (0896) 29-5210

日程	テーマ	提供食
5/2(土) 13:00～14:00	栄養フェスタ 脱・メタボ教室	糖質制限ケーキ
6/6(土) 12:30～14:00	糖尿病の基礎を学ぼう	バランス弁当
7/4(土) 12:30～14:00	バランスのいい食事の 選び方と運動療法	バイキング
8/1(土) 13:00～14:00	夏場の血圧コントロール	ジュース
9/5(土) 12:30～14:00	糖尿病と合併症	たんぱく質 制限弁当



栄養科コラム

日程	テーマ	提供食
10/3(土) 12:30～14:00	おいしく減塩、おいしく健康 うす味大作戦!	減塩弁当
11/7(土) 13:00～15:00	健康フェスタ ※お申し込み不要 ～糖尿病とうまく付き合おう～	コラボランチ (別途500円)
12/5(土) 13:00～14:00	薬と災害時の備え	甘味料を使った デザート
1/16(土) 12:30～14:00	胃にやさしい食事	ヘルシー弁当
2/6(土) 12:30～14:00	カンパセーションマップ	バランス弁当

病院ボランティアさん募集

ボランティア活動に参加してくださる方を
募集します。少しでもお話をさせていただ
く時間をいただける方は

HITO病院サポートセンター
0896-29-5320

までお気軽にお問合せください。
当院を応援してくださる方、一緒により良
い地域医療を築いていただける方、当院と
地域のかけ橋になってくださる方をお待ち
しています。

の整備などをする間接的サービスもあります。
はじめて病院を訪れる患者さまやそのご家
族は不安や戸惑いを感じて来院されます。
そんな時、病院スタッフの行き届かない部
分を、私たちは、ボランティアさんによって、
はつと気づかされることもあります。
「人数が多くなると、ボランティアがそれぞ
れ得意分野で活躍できるようになります。大所
帯になり、病院内のひとつつの組織としてで
きあがると、活動の幅が広がり面白いこと
になりそう。」と前述のボランティアさんは
夢を語ってくれました。

平成27年6月1日より、
初診時選定療養費が
1,800円になります。

- 紹介状あり ➔ 選定療養費の
ご負担なし
- 紹介状なし ➔ 選定療養費
1,800円
(従来 840円)

当院では、紹介状（診療情報提供書）なしで初診受診をされる場合に、別途定額料をいただいております。
これは厚生労働省が定めたもので、病院(200床以上)に初診でかかる場合、各病院が定める料金を負担していただく制度であり、診療所と病院の機能分担(初期診療は診療所、高度・専門医療は病院)を図ることを目的とした制度です。
皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



HITO NEWS表紙の
イラストレーターさん
K.タエコさん

1985年よりイラストレーター業務開始。
福岡県在住。主にオイルパステルを使って、
やさしく暖かさを大切にしたイラストを作成。
第四回イラストレーション通信
イラストレーション・コンペ金賞受賞(2012)

●お知らせ HITOインフォメーション ●



かかりつけ医と
医療機能分化の
シンポジウム

平成27年3月15日、愛媛県在宅医療普及推進事業として地域における「かかりつけ医」機能の重要性や「機能分化」の必要性等について、四国中央市民の皆様にご理解頂くためのシンポジウムを開催しました。

基調講演では、愛媛大学医学部附属病院総合診療サポートセンター長の樋本真里先生による「これから地域医療がどのような展開を迎えるうどしているのか」について講演いただきました。パネルディスカッションでは、か



日本救急医学会認定
ICLSコース

平成27年3月1日、「ICLSコース」を開催し、当院スタッフと四国中央病院さんのスタッフあわせて12名が受講しました。

「ICLS」とは[Immediate Cardiac Life Support]の頭文字を取ったもので、緊急性の高い病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標とした医療従事者のための蘇生トレーニングです。

外部から認定コースディレクターや認



がんを語らう
HITOSalon

平成27年2月9日、がんを語り合いながらイベント等を楽しむサロン「HITOサロン」を開催しました。

入院中の患者さまやそのご家族だけでなく、院外からも多くの方のご参加をいただきました。患者さまのギター演奏を楽しんだ後、当院の看護師がアロマセラピーによるリラクゼーションについての話をしました。

アロマセラピー（アロママテラピー）は、精油（エッセンシャルオイル）、または精油の芳香や植物に由来する芳香を

がんを語らう
HITOSalon

平成27年2月9日、がんを語り合いながらイベント等を楽しむサロン「HITOサロン」を開催しました。

入院中の患者さまやそのご家族だけでなく、院外からも多くの方のご参加をいただきました。患者さまのギター演奏を楽しんだ後、当院の看護師がアロマセラピーによるリラクゼーションについての話をしました。

アロマセラピー（アロママテラピー）は、精油（エッセンシャルオイル）、または精油の芳香や植物に由来する芳香を

用いて、病気の予防や治療、心身の健康やリラクゼーション、ストレスの解消などを目的とする療法です。今回はアロマを生活の一部に取り入れる工夫について紹介しました。

当院のサロンは、今年度も継続して開催する予定で、基本的には、偶数月の第2月曜日14時から開催しています。アロマ以外で治療を受けられている人やそのご家族の方もご参加いただけますので、お気軽にご参加ください。



定インストラクターの方々をお迎えしました。受講生は、丸1日をかけてじっくりと、蘇生のために必要な技術や、蘇生現場でのチーム医療を身につけることができました。

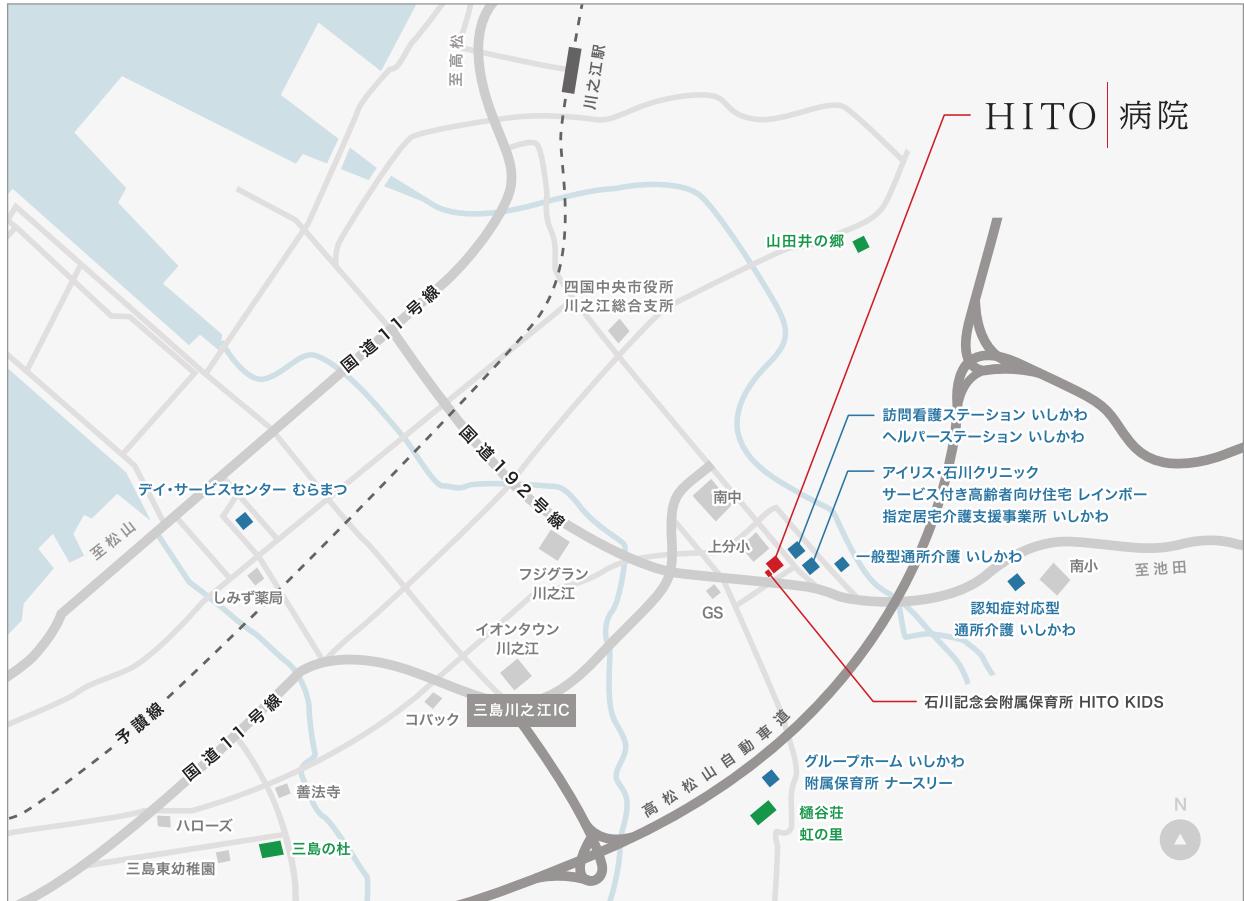
かりつけ医を持つことの重要性について樋本先生をはじめ、福田医院の福田保先生、四国中央市福祉保健部保健推進課課長の東澤博氏、地域住民代表の佐藤温美氏らによる活発な意見交換が行われました。

当院では、今年度も継続して医療機能分化の推進のために、シンポジウムと出前講座を開催いたします。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

● 第1回出前講座 7月初旬予定

● 第2回出前講座 11月下旬予定

※かかりつけ医と医療機能分化の詳細については、P5をご参照ください。



※社会医療法人とは、公的機関に準ずる機関で、
営利を目的としない公益性の高い医療法人のことです。

HITO病院
Official Site

Facebook

美容外科Be
Facebook



HITO | 病院

※
社会医療法人石川記念会 HITO病院
〒799-0121 愛媛県四国中央市上分町788番地1
TEL: 0896-58-2222 FAX: 0896-58-2223 URL: hito-medical.jp